

新型コロナウイルス感染症の現状について

1 海外の発生状況

- 中国湖北省武漢市を中心に患者数、疑い患者数は継続的に増加。本年2月11日までの中国本土での患者数は42,638人（うち死亡1,016人、致命率約2%）。

2 国内の動向

- 2月11日時点で、患者25人、無症状病原体保有者3人（ただし、クルーズ船での患者発生は除く）。いずれも、湖北省滞在歴がある方又は患者の濃厚接触者。
- 厚生労働省は、「新型コロナウイルス感染症は、我が国において、現在、流行が認められている状況ではない」とし、国民に対して、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に咳エチケットや手洗いなどの実施を呼びかけ。

3 東京都感染症対策アドバイザーの評価・見解

【国内における感染の広がり】

- 報告されている患者の感染経路や発生動向を考慮すると、現在は国内で感染が広がっている状況ではない。

【患者の症状】

- 高齢者や基礎疾患を有する一部の患者で重篤化するという報告はあるものの、自らが診察した患者ではのどの痛みや鼻水などの軽度のかぜ様症状が多く、重い病気という印象は無い。

【武漢市の致命率が高い理由】

- 症状の軽い患者は必ずしも診断されておらず、主に重症例が診断され、患者数の母数となっていることから、見かけ上致命率が高くなっていると考えられる。

【都民への啓発】

- 季節性インフルエンザと同様に手洗い・咳エチケットを徹底することが有効である。また、感染するとすべて重篤化するような病気ではないため、冷静に対応するよう、呼びかける必要がある。